

エゾシカを効率よく捕獲するために

— 誘引餌の選定と給餌期間の検討 —

道総研 連携推進部 連携推進グループ 南野一博

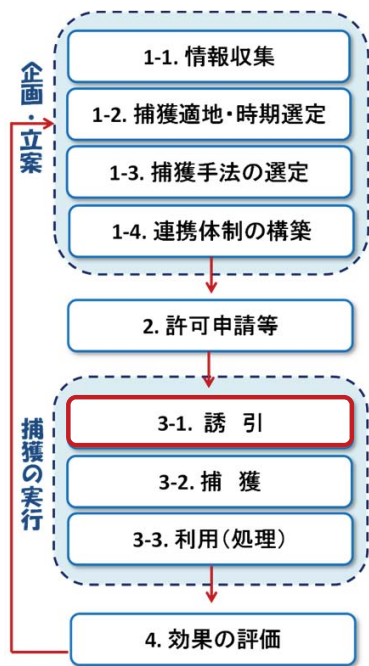
林業試験場 保護種苗部 保護グループ 雲野 明 ・ 明石信廣

研究の目的

エゾシカによる森林被害の軽減を目的としたエゾシカ捕獲事業が全道で行われるようになりました。エゾシカを効率よく捕獲するには、林内に分散しているシカを給餌により誘引する必要があります。本研究では、誘引に適した餌の種類や給餌期間について検討しました。

捕獲事業の流れ

捕獲事業のなかで、誘引は捕獲の成否を左右する重要な要素になります。

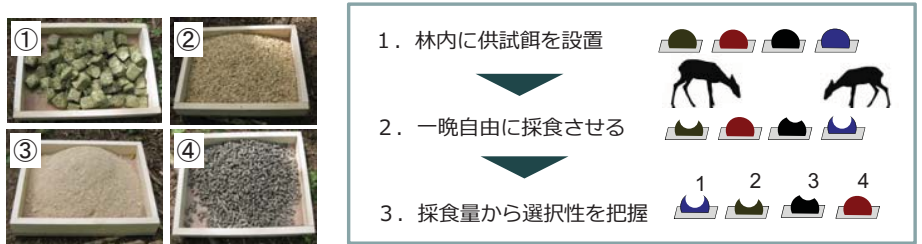


「森林管理者のためのエゾシカ捕獲の手引き」より

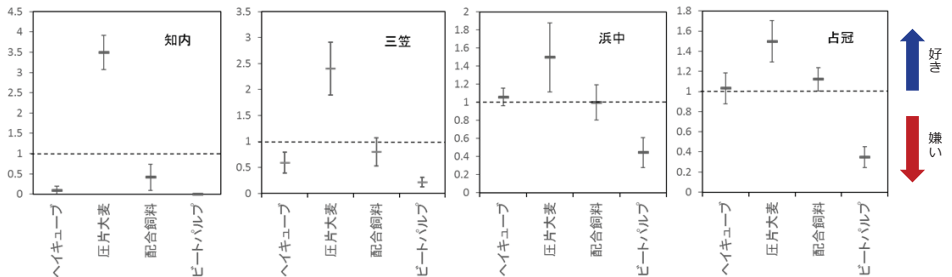
誘引餌にはどの餌が良いか？

カフェテリア試験：供試餌を自由に採食させ、摂食状況から嗜好性を調べる試験

調査地：知内町、三笠市、浜中町、占冠村 供試餌：家畜用飼料4種
調査時期：1月～3月



- ①ヘイキューブ・・・アルファルファを乾燥圧縮しブロック状にしたもの (2,000～3,000円/30kg)
- ②圧片大麦・・・大麦を加熱、加圧加工したもの (1,000～1,300円/20kg)
- ③配合飼料・・・複数の飼料や飼料添加物を一定の割合に混合したもの (1,300～1,800円/20kg)
- ④ビートパルプ・・・甜菜から糖分を搾った残滓を乾燥後、ペレット状に加工したもの (1,000～1,300円/20kg)



Manlyの選択性指数による家畜飼料4種に対するエゾシカの嗜好性

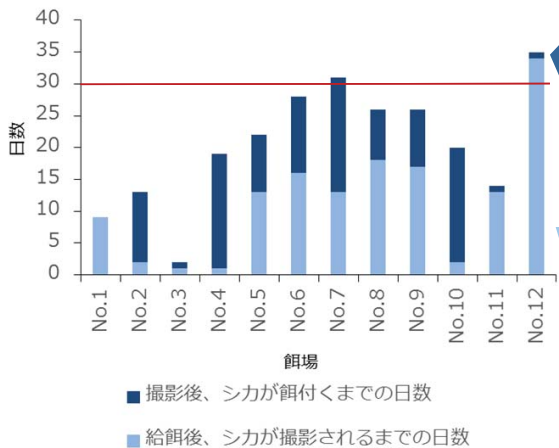
エラーバーはBonferroniで補正された95%信頼区間を示し、1を含まない場合に有意性が認められる。

地域によりエゾシカの嗜好性は異なるものの、すべての地域で圧片大麦の嗜好性が高いことがわかりました。

給餌期間はどのくらい必要か？

H29道有林日高管理区 モバイルカリング(MC)の事例

給餌開始：12月19日～ 捕獲路線延長：8.5km 給餌場所：12か所
捕獲開始：1月29日～ 餌の種類：圧片大麦など7種類



給餌開始から1か月後



給餌開始から2日後

H29日高MCにおいて給餌から餌付けに要した日数

給餌後1か月程度でほとんどの餌場で餌付けに成功しました。

道有林日高管理区におけるモバイルカリングの実施及び捕獲状況

	事前給餌期間	誘引餌	捕獲日数	目撃数 ^a	捕獲数 ^b	b/a
H27年度	1週間	牧草	10	35	4	0.11
H29年度	1ヶ月	圧片大麦など7種から選定	9	275	85	0.31

H27年度に実施されたモバイルカリングでは、エゾシカを誘引することが出来ず、捕獲数は4頭にとどまりました。H29年度は、誘引期間と誘引餌を見直した結果、H27年度とは積雪条件などが異なるものの、エゾシカの誘引に成功し、目撃数や捕獲数が大幅に向上しました。

まとめ

今後新たに捕獲事業を実施する地域では、誘引餌に圧片大麦を用い、捕獲の1ヶ月前から給餌することで、エゾシカを誘引できる可能性が高まると考えられます。